

2016 年度研究大会パネル公募の審査結果について

2016 年 5 月 23 日
国際法学会 研究企画委員会

2016 年度研究大会のパネル公募にご応募いただきありがとうございました。

研究企画委員会における厳正な審査の結果、設置をお願いすることになったパネルは、以下の通りです。

9 月 11 日(日)午後の公募分科会(14 時 15 分~17 時 30 分)での報告となります。

分科会B (パネル)

「国家管轄権外区域の海洋生物多様性(BBNJ)新条約をめぐる国際法の新たな展開」

企画責任者兼座長 東北大学教授 植木 俊哉

1 国家管轄権外海域に設定される海洋保護区——現状と課題

中部大学准教授 加々美 康彦

2 国家管轄権外区域の海洋生物多様性(BBNJ)新条約と国連海洋法条約

——その総論的考察 外務省事務官 本田 悠介

3 「人類の共同財産」概念の現代的展開——BBNJ新条約交渉をめぐる「人類の共同財産」に焦点を当てて 東北医科大学専任講師 佐俣 紀仁

分科会C (パネル)

「投資条約仲裁は、いかなる意味において国際法上の制度なのか」

企画責任者兼座長 京都大学教授 濱本 正太郎

1 投資条約仲裁制度を通じた集団訴訟——小規模投資家の保護要請と「取締仲裁」論

神戸大学学術研究員 中島 啓

2 投資条約仲裁における非金銭的救済——投資家の国際法主体性と投資条約仲裁

本質論 京都大学大学院博士課程 二杉 健斗

3 投資条約仲裁における国内的救済完了原則の適用例外

——「無益性」の抗弁 日本学術振興会特別研究員 山下 朋子

分科会D (パネル)

「国際的な法統一の展開と法形成における政策目的」

企画責任者兼座長 同志社大学教授 高杉 直

1 法統一の展開とレークス・メルカトーリア 京都大学教授 西谷 祐子

2 国際的な担保法の形成——統一から現代化へ

学習院大学教授 小塙 莊一郎

3 国際知的財産法の形成——「公法色の強い私法」の統一から公法へ

日本大学准教授 加藤 暁子

4 公法分野における経済規制の国際的調和——私法統一との比較において

北海道大学准教授 伊藤一頼

以上